



双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 令和7年11月21日号

学校教育目標「自ら学び、未来を創造できる生徒の育成」～楽しくなければ学校ではない～

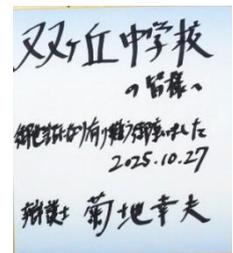
朝、校門の前に立っていると日に日に寒くなっていくのがわかります。いつも立っている場所なのに日差しが当たらず陰になったりと、季節が進んでいるなど感じます。さて、大きな学校行事も終わり(2年生は、いよいよチャレンジ体験ですね!)、もうすぐ12月です。早いものです。校区内の小学校ではインフルエンザによる学級閉鎖が多くなっています。兄弟姉妹がいる場合は、家庭内でも感染予防が重要になってきますね。特に3年生は気を付けてください。さらには熊ですね。どうすれば良いかは正直なところ我々もわかりません。とにかく会わないことなので、暗い時間帯(早朝や夜)に出歩かないことだと思います。早く冬眠してくれればと思います。気を付けましょう。

➤ 菊地 辯(弁) 護士の講演



10月27日、テレビなどに多数出演されている菊地弁護士による講演がありました。3年生を中心に金融教育を行っており、その中で菊地弁護士にお話しをしていただきました。最近ではスマホがあれば何でもできる時代となり、便利になった分、お金に関して色々な知識をつける必要があります。銀行に貯金するだけでなく、運用ということもあります。しかし、世の中には悪いことを考える人もいます。菊地弁護士からは、「人を信用してはいけません」というテーマで、中学生にも、とても分かりやすく詐欺被害などの話をしていただきました。

“うまい話には裏がある”と昔から言いますが、誰でも簡単に大金を稼げる仕事なんていうのはないのです(あれば、それが詐欺です!)。いつ何時でも、冷静に落ち着いて考えれば詐欺に引っ掛かることもないです。おかしいと思ったときは、信頼できる周りの人(家族や大人)に相談しましょうね。



➤ 生徒会本部役員選挙

今年度も下半期となり、次期生徒会本部役員選挙が行われました。いずれの候補者も、学校生活をよくしていきたい!という気持ちが伝わってきました。1年間という短い期間になりますが、“私はこれをやりきりました!”と言えるような活動を期待しています。みなさんも、活動に協力や応援をよろしくお祈りします。



➤ 定期テスト



大きな行事のあとは、テストです。嫌ですよ。テストっていうものは、大人になっても好きにはなれないものです。しかし、よくよく考えてみてください。なぜテストってあるのでしょうか。テストがあるから勉強をする。テストがあるから頑張る。等々、自分を鼓舞するものでもあり、自分の知識や身に付いたものが正しいものかを判断するきっかけになるものです。テストがあるから勉強をしたり、技術を磨いたり、実は自分の人生をより豊かにしているものなんです。でもやっぱりテストは。。。という声が聞こえてきそうですが、テストがあるからこそ、人間として成長することができるものです。何も言わずに

勉強し頑張る人には必要がないのかもしれませんが、そのような人を今まで何人見たことはありますか?

➤ 保護者のみなさまへ

秋を感じることなく冬に突入したような気候が続きます。大人も子どもも、この急激な変化に身体が悲鳴をあげそうです。気圧の変化により体調がすぐれない(頭痛やだるさ)という生徒や大人もいます。これからどんどん寒くなっていきますので、ご家庭での体調管理等よろしくお祈りいたします。また、熊の情報が毎日のように入ってきます。区役所や警察とも連携しながら対応していきますので、特に高雄学区や宇多野学区にお住まいの方々ご注意ください。さて、3年生は先月末に進路懇談会を行いました。12月の三者懇談においては、正式に受験校を決定していただきます。将来に向けて何を学びたいのか、その高校で何をしたいのか、3年間通えるのか等、色々なことを検討し、最後は本人が決定していきます。まだ少し時間がありますので、ご家庭での話し合いをよろしくお祈りいたします。